



—学校だより— 太田郷っ子

八代市立太田郷小学校
～笑顔 はきはき がんばる子～

R3. 7. 2(金) No.7

ここはおこさ通り一丁目 ～地図にならぬ町～

太田郷小学校の正門には「おこさ通り一丁目」という看板があります。「これは何かな？」と、とても興味が沸きました。太田郷幼稚園の前には「おこさ通り二丁目」。十條製紙前にも「おこさ通り五丁目」と校区内におこさ通り〇〇丁目という看板を見かけます。

そこで、調べてみたのですが、平成9年、当時の校長先生、杉山幹郎校長先生が、あいさつ日本一の学校をめざして「あいさつ日本一大作戦」を展開されたということがわかりました。「おこさ」いうのは、「おはよう」「こんにちは」「さようなら」の頭文字を組み合わせたものです。

太田郷小学校の隣は、太田郷幼稚園があり、その隣には第二中学校があります。このように幼稚園、小学校、中学校が隣接している校区は熊本県下でも稀です。当時の園と学校とそれぞれのPTAが話し合い、連携を深め、あいさつの輪を広げていこうという願いから始められたということです。これだけではありません。さらに、「おこさ通りの歌」も作られました。歌詞が太田郷小学校の職員玄関に掲示してあります。作詞「さんざんかんろう」。この名前は、おそらく発想豊かな杉山幹郎校長先生の芸名だと拝察いたします。(幹郎→かんろう)作曲が当時の、熊本市の池田小学校の岩村徹校長先生、編曲をされたのが永椎直美先生だということがわかりました。そして「おこさ音頭」という踊りもできました。

4月から、太田郷小学校では朝の8時に、この「おこさ通りの歌」を放送しています。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」と、気持ちのよいあいさつが飛び交うように生活・安全委員会の児童によるあいさつ運動など様々なことに取り組んできました。最近のことですが、地域の方から「校長先生、太田郷小学校の子どもたちのあいさつがよくなってきましたね。」とお誉めの電話もいただきました。

ここ太田郷小学校は、おこさ通り一丁目です。あいさつのある町です。この輝かしい伝統を大切に受け継いでいきたいと思えます。



生活・安全委員によるあいさつ運動



参観ありがとうございました。

新型コロナ感染拡大防止策として、密を避けるため、6月30日、7月1日に2グループに分けて授業参観、学級懇談会を実施しました。お忙しい中、たくさんの保護者の方々にご参加いただき大変ありがとうございました。今後とも、保護者の方々と連携を取りながら、教育活動を進めていきたいと思えます。



